

新入社員の9割が該当？

- 成長しない新人の間違った考え方とは -

近年の新入社員傾向

今年も2025年入社の新入社員を対象に、数多くの意識調査・アンケートが行われています。そして、新人教育を進めていく上で注目すべきは、以下の調査結果です。

質問項目：働いていく上で大切にすることは？（複数回答）

- ・対象の50%が“仕事に必要なスキルや知識を身につけること”と回答
- ・40%の人が“任せられた仕事を確実に進めること”とも回答
- ・“**仕事で高い成果を出すこと**”と回答した人はわずか**10%**

質問項目：新人時代に身につけるべきことで、重要だと考えるものは？（複数回答）

- ・“社会人としての基本行動”と回答した人が約54%
- ・“**会社の理念や方針、価値観に沿った行動**”と回答した人はわずか**0.4%**

上記の調査結果はここ数年で変わらず見られる傾向です。安定性や確実な成長を重視する人が多いものの、その反面、高い成果を上げることや、会社方針の達成を重要視しない人が大多数を占めてしまっています。では、なぜこのような考え方が定着してしまっているのでしょうか。それは、新人ではなく、正しい考え方を教えることができていない会社側に責任があるのかもしれませんが。

新人の成長を阻害する考え方とは

例えば、新人・若手社員は“目標”という言葉を知ると、“辛いノルマ”と連想してしまい、「与えられたくないもの」「ノルマを課す会社は悪だ」と考えてしまいがちです。実際、弊社の新入社員研修でも、入社後すぐに価値観診断をすると、このような間違った考え方を持つ新人がほとんどであり、その改善には時間を要するほどです。

しかし、本来目標とは本人が成長をしていくためにも、必要不可欠なものに他なりません。

目標とは…

- ・「ここまでではできない」という予測値ではない
- ・予測値に何らかの“ムリ”を加えたもの
※ムリ=新しい工夫や努力
- ・ムリを加えないと、いつまで経っても現状維持で成長することはできない
- ・人は潜在意識でネガティブに物事を考えやすい。だからこそ数値化する(目標を持つ)ことで、物事が良い方向に行くようにする(潜在意識を+に働かせる)ことが大切
- ・目標達成のために懸命な努力をすることが習慣になる
- ・目標を達成することで自信が生まれ、また次の目標にチャレンジするようになる

⇒**目標とは成長の原動力に他ならない**

このように、本人たちが一番望んでいる“成長”ですが、目標を拒むことで、知らず知らずのうちに自ら成長機会を放棄してしまっているのです。そのため、目標や方針を達成することの意義やメリットを、今一度教えることが大切ではないでしょうか。

弊社の研修では、成長していくために必要な考え方を学ぶだけでなく、現状認識のための各種診断ツールを用意しております。また、目標達成の秘訣や、成功する行動計画の立案法等、実務に結びつく内容もご紹介します。詳しい研修内容等、ご興味のある方は下記リンク、またはQRコードよりぜひお問い合わせください。

> お問い合わせはこちら

